

無料

7月の上映会

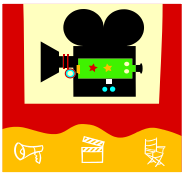
「偽れる盛装」

●7月4日(木) 14:00～(開場13:30)

●生涯学習センターホールフラット(中央町2-6-23)

監督 吉村公三郎 1951年(大映) 上映時間103分

出演 京マチ子 藤田泰子 柳恵美子 北河内妙子 瀧花久子



男たちを手玉にとる勝ち気な芸者と市役所に勤める妹を対比させつつ、欲望が渦巻く京都の花街の世界をリアルに描いた傑作。

おきくの娘・君蝶はやり手の芸者。おきくのやり方に君蝶は何かと反発する。その妹は母と姉の暮らす世界を嫌って市役所に勤める。君蝶は金銭的に頼りにならない客の山下から母親のライバルだった女性の旦那に乗り換えるが…。



お待ちしております！



●この上映会は、子どもさんや若いお母さんをはじめ、中高年の方々が「気楽に遊んで楽しむ場所を提供する」ことを目的に設立された“のびのびうさぎ”という任意団体が企画したものです。

8月は「インビクタス」アメリカ映画の予定です



—お問い合わせ—

代表 山本真理子

山本携帯: 090-1056-9986

(Tel&Fax: 042-472-8732)

メ-ル :marippe@r3.dion.ne.jp

—「のびのびうさぎ」の活動の様子をご覧ください—

★**のびのびうさぎのブログ**「うさぎの茶の間日記」

<http://blog.goo.ne.jp/nobinobiusagi2014>

★**東久留米のふれあい情報サイト**「くるくるチャンネル」

<http://kuru-chan.com/blog/2013/03/04/0436nobinobiusagi/>

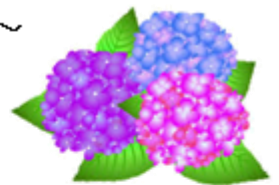


四方山話

第42回(2019.06)

～カタツムリ～

6月に入ると、そろそろ梅雨の季節。何だか気分が晴れないな、などと梅雨入り前からテンションが落ちている方もいらっしゃるかもしれませんね。でも、雨に濡れたアツサイやそのアツサイの葉の上にちよこんとのっているカタツムリを見ると、ちよつと心が和むといったこともあります。



ということで今回は「カタツムリ」について調べてみました。ついつい「でんでんむしむしかたつむりおまへのあたまはどこにある～～」なんて口ずさみながら書いています(スママセン)。さて、カタツムリは殻を背負っていますが、ヤドカリなどとは違って、生まれた時からあるものだそうです。標準装備されているんですね。そして、その主成分は「石灰質(炭酸カルシウム)」です。身体の成長に合わせて、どんどん殻の入り口に石灰質を塗りつけてサイズアップしているのだそうです。増改築をいつもやっているイメージですね。では、その「石灰質」の補給はどうしているのでしょうか。よく



雨が降ったあとのコンクリートの上にカタツムリがいることを見かけることがありますが、コンクリートの表面から染み出している炭酸カルシウムを舐めて、原材料にしているのだそうです。コンクリートのないところでは石灰岩や他のカタツムリが死んだ後の殻などから、補給しているようです。

これを書いたあと、カタツムリを折り紙で作ってみました。こんなことも梅雨の楽しみ方の一つでしょうか？

